

## 埼玉県高校3年生テニス部員へ

高校に入学し、テニスを選び、入部してから2月末まで、テニスという競技との対峙、辛く厳しい練習、負けて悔しい試合、仲間とふざけ合った時間、全ての思い出が君たちの大きな財産です。そして、苦楽を共にした仲間は何にも代えがたい存在です。コロナウイルス感染拡大の影響で、部活動をできない時間を過ごし、部活動が自分の中でどれだけ大きな存在であったか痛感したことでしょう。我々テニス部顧問も同様で、部活動の時間が無くなり大きな穴が開いてしまったように感じています。

我々は、練習、大会、生活面においてテニス部員の支援を全力で行ってきました。このような事態になり、3年生に引退試合を経験させたい、部活動の集大成を発表する場を用意したい。その思いは全顧問が持っているところです。しかし、今年度のインターハイ中止が決定した今、いつ終息するか先が見えない厳しい現状を見つめ、現時点で『県大会止まりの学校総合体育大会』を開催しないと判断し結論に至りました。健康と安全、安心が最優先であること、早急に伝え気持ちを切り替え進路実現へ向かうことが最善であることなどが主な理由です。

人生の中で、これほどやり場のない悔しさを味わうことは今後ないかもしれませんが。しかし、人は前を向いて上を向いて歩けるのです。今は来たる終息する日に備えて、心と体、そして頭を鍛え自宅でじっと我慢し過ごしましょう。そして、テニス部で養った人間力を、それぞれの未来で存分に発揮することを期待します。

結びに、部活動に懸命に取り組める環境が当たり前ではないということ了我々は突き付けられました。今後は、目の前のあらゆることに対して感謝の心を常に抱いて生きていきましょう。

令和2年5月  
埼玉県高等学校体育連盟テニス専門部  
委員長 福元 健二